

【第119号 二〇一四年十一月五日発行】

福音の園だより

平成十八年度、高齢者雇用優良事業所協会会長賞、受賞

TBSラジオ『メイコのいきいきモーニング』取材放送

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定

350-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎049-230-1111 FAX230-1112

福音の園® Gospelgarden® は有限会社シャロンの商標

「家族の声」

御苦労を笑いに变えて下さり、

私の母が福音の園にお世話になって、ヶ月が経とうとしています。最近、母の様子が変わってきました。面会に行った時、「たまにしか来れなくてごめんね、勘弁ね」と言つと「いいよ」とはつきり返事をしたのです。そんな言葉を聞いたのは、何ヶ月ぶりでしょうか。全く話せなくなった母なのに、緑の自然の中で、のんびり生活ができる母に、もう一度気力が湧いてきた様に思います。私は何も話せない、自分で寝返りもつてない母は、本当は苦しいのではないか、生きているのは辛いのではないかと、悩んだ時期があります。

しかし、福音の園の職員の方々が母の世話を下さる姿を見て変わりました。職員の方々は会話があります。笑いです。家族の私にまで「来てくれてありがとう、ありがとう」と言ってもらえて、涙が出ます。私の方こそありがとうございます。母に会つのが楽しみになりました。大変な御苦労を笑いに变えて

下さる福音の園の方針に感謝いたします。

(W・M)

理念・方針説明

経験値を積み上げたら



市内で一番忙しいグループホームに

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳
「幾つものグループホームへマッサージに伺っているが、福音の園さんが一番きれいにしている!」
「ご家族様が別料金で利用される、訪問マッサージG」さんが打ち明けてくれた寸評。開園し10年経っているので「建物・設備の新旧」のことではなかった。

私たちの本性の一つが「少しでも楽をしたい」と云う気持ち。楽に仕事をしたいと、手を抜く術すべを覚える。その結果、例えば「お掃除」が行き届かなくなる。これが清掃の段階ならまだ片目を瞑つむれても、「入居者のケア・日々の生活介護」にも同様な気持ち(習慣)で手抜きされるとしたら「本末転倒」。介護保険の基本理念「利用者(家族)本位の介護サービス」が、いつの間にか「楽な業務優先・施設本位の介護サービス」へと変質してしまつた。

チームケア経験値を積み上げてみたら

10年間の歩みで、色々な失敗や苦い経験の度に「振り返り」を積み重ねてきた。「ああしてあげよう!」「こうしてあげたい!」と願いながら、チームケア経験値を積み上げてみたら、市内で一番忙しいグループホームになってしまった? ように思う。

「利用者本位の視点」故に「手を抜けない」結果が「一番忙しくしている?」要因だと分析している。基本方針の一つが『画一的な支援の押し付けにならないように、お一人ひとりの「生活づくりのパートナーを目指します」』。重度化される「お一人ひとり」を、手を抜かずにお世話したら「忙しくなつて当たり前」。もし、「仕事」が楽なグループホーム

があるとしたら、それは手を抜いている「施設職員本位のグループホームだ!」と云う印象は拭えないのではないか。

「少しでも楽をしたい」と云う本性と表裏一体なのが「もっと自分を高めたい」「介護のプロとして向上したい」と欲求する気持ち。手を抜きたいと、さらに向上したいとが螺旋状にぐるぐる葛藤しながら人は成長しているように思えてきた。

知らず知らずの内に「仕事に対する自信」となり、喜びややり甲斐となつていく。それが「正直に顔に出る」「顔はつそを付かない」「ああしてあげよう」「もっとこうしてあげたい」と心に秘めながら仕事をしている「活き活きとしていく」輝いていく。

4例の入居者・家族事情

10年間に「看取り逝去者(ターミナルケア)13名」を含め33名が退居された。そして、同数の方をお迎えした。退居されると入居申込者(待機者)家族へ連絡を入れる。「待つてられないので別なグループホームへ入居しました」との返答。「それは良かったですね」と受話器を置いた。翌日、「やっぱり福音の園さんが第一希望だったので、今からでも転居出来るでしょうか?」と云う、再度のご入居相談電話。

「入居一時金等の費用発生が含まれますが、ご負担が可能であれば、自宅や病院・グループホームなど、どこからであっても喜んでお迎えいたしますので…」と回答した。こうして「他のグループホームからの転入居者」は4例を数えている。当園を選んで下さったことに感謝しながら、「一番忙しいグループホーム?」で理念・方針を共有しながら、頑張つて協働してくれているスタッフを心底、誇りに思っている。



御礼

感謝：バザー用品をご提供下さいました皆様